

# 市政一般質問

市政一般質問は、議案質疑のほかに市政全般にわたって市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたどるもので、定例会に限って行われます。

今回は17人の議員が登壇し、市の考えを尋ねました。

7ページから15ページまで、登壇順におもな内容を掲載しています。

●仙石三喜男 議員	豪雨災害の備えと地域防災力(共助)の向上に資する取組みについて	7P	●林 美行 議員	駿南再開発事業において多治見市が抱える課題について	12P
●柴田 雅也 議員	公衆衛生～新型コロナウイルス感染者拡大について	8P	●吉田 企貴 議員	子どもの権利条例の果たしてきた役割とこれからの方針について、立法の精神に立ち返って質問する	12P
●三輪 寿子 議員	「ジェンダー平等に向けた取り組みを！」	8P	●佐藤 信行 議員	屋内シェルター設置に対する考え方について	13P
●山田 徹 議員	被災時における高齢者、障がいのある方々の安全確保について	9P	●玉置 真一 議員	「天災は必ず来るから備えましょう」地下水利用編	13P
●石田 浩司 議員	地域移動手段と自治組織について	9P	●渡部 昇 議員	多治見市におけるSDGsの推進について	14P
●寺島 芳枝 議員	高齢者の交通安全対策について(サポカー補助金他)	10P	●古庄 修一 議員	地域の魅力再発見について	14P
●若林 正人 議員	国際女性デーに想う！・・・多治見市における女性の社会進出の現状について	10P	●井上あけみ 議員	新庁舎の駅北建設に伴う、駐車場の確保について	15P
●城處 裕二 議員	『親育ち4・3・6・3たじみプラン』について	11P	●片山 竜美 議員	「楽器寄附ふるさと納税」の創設と小中学校「4時禁」への対応について	15P
●奥村 孝宏 議員	多治見市の空き家対策について	11P			

**問**

昨年の台風19号では、避難所難民が続出したとの報道があつたが、本市の受け入れ体制はどのようにして、高齢者等への対策として、ボルベッドの供給は可能か。

**答**

【企画部長】防災士の資格取得支援や、資格取得者の連携を図り、自主防災リーダーの育成を図る。また、防災モデル地区サポート事業の継続により、自主防災組織立ち上げの普及に努める。

**問**

昨年の台風19号では、豪雨災害の備えと地域防災力(共助)の向上に資する取組みについて、どのような方針である。

**答**

【副市長】今後の浸水対策については、従前のハーネス事業からソフト事業を主体とし、地域の共助を高める対策に取り組む方針である。

**問**

豪雨災害の備えと地域防災力(共助)の向上に資する取組みについて

**答**

【企画部長】風水害時の指定避難所は、83カ所、約3万1千人の受け入れが可能である。他に、民間企業と協定を締結し、車中泊避難用の場所を提供していただくこととしている。



せんごくみさき  
仙石三喜男

**豪雨災害の備えと地域防災力(共助)の向上に資する取組みについて**

**問**

福祉避難所についてのマニュアルを作成しているか。

**答**

【福祉部長】福祉避難所にはさまざまな施設がある。施設の性格に応じた福祉避難所のあり方を総合的に勘案し、現実的で実効性のあるマニュアルとするため、各施設と継続的な協議を重ねているところである。







かたやま たつみ  
**片山 竜美**

## 「楽器寄附ふること納税」の創設と 小中学校「4時禁」への対応について

本市では、すべての中学校に吹奏楽部が存在する。部活動を維持するためには、高額な楽器の買い替えやメンテナンス、修理が必要となる。また、最近、小中学校の「4時禁（4時まで外出禁止）」がマスコミで批判されていいる。教育の観点から、それぞれの対応について、以下のとおり質問する。

**問** 高額な楽器の更新費用を抑えるため、活用できる楽器を全国から寄附していただく「楽器寄附ふること納税」を創設することで、まちや学校の音楽活動が盛んになると考えるがいかが。

**答** 「総務部長」 楽器寄附ふるさと納稅

を採用した三重県いなべ市での楽器のメンテナンス費用は、年間約40万円である。寄贈された楽器の査定価格は1件あたりの平均が2・6万円であり、年間16件以上の寄附を受けないと費用対効果に欠けるため、修繕が適切である。

**答** 「副教育長」 楽器の有無や新旧にとらわれず、状況の中で最善を尽くす工夫を促すことも大切な教育である。学校側へのヒアリングでも、楽器の購入、修繕の要望はない。また、中学校1校につき、部活動充実費として4年に1度、50万円を補助しており、制度創設の考えはない。

**問** 高額な楽器を市で管理し、必要に応じて学校に貸し出すことはできないか。  
**答** 「副教育長」 運搬の手間や破損の危険性を考え、現在のところ共有は考えていない。

**問** 県から取りやめの通達があった、小中学校の児童生徒に対する「4時禁」は、今まで何を理由に、どんな場面で行われ、どのような指導をしていたのか。  
**答** 「副教育長」 特にこのルールを乱発してはいけない。4時までに帰宅した児童生徒に対して、保護者や学校の自由の届かない時間帯に子どもたちが事件や事故に巻き込まれないよう、不要の外出を控えるよう指導してきた。

**問** 今後、本市は各小中学校に対し、「4時禁」について、どのような方針を示すのか。  
**答** 「副教育長」 これまで保護者からの苦情等は一切なく、趣旨は理解しているただいていふると考えられる。「行き過ぎた指導があれば見直すよう、校長会で指導しているが、ルールの撤廃は指示していない。今後も生徒指導主事が見回りを行う。

◆ その他の質問項目  
◆ 防災情報伝達手段の拡充における戸別受信機について

わたなべ  
のほる  
**渡部 昇**

## 多治見市におけるSDGsの推進について

2015年9月に持続可能な開発サミットが開催され、2030アジェンダいわゆるSDGsが採択された。この取り組みは、より良き将来を実現するために、2030年までに極度の貧困、不平等、不正義をなくし、地球環境や経済活動、人々の暮らしなど、私たちの地球を守り、持続可能な開発に向けて、さまざまな目標を達成するための行動計画で、具体的な17項目の目標と169のターゲットを設定している。誰ひとり取り残さない世界を実現するためのチャレンジであり、まさに人間の安全保障ともいべき共通理念である。各自治体にはSDGsに盛り込まれている目標や課題が存在すると思うが、SDGsへの本市の取り組みに関し、以下の提案、質問をする。

問

【市民】SDGsを啓発するため、ホームページや広報たじみでの情報発信、公共施設へのポスター掲示などをはどうか。

答

【市長】SDGsを推進していくため、世界的な流れを踏まえ、第7次総合計画の見直しを行った。総合計画を推進することが、結果としてSDGsの目標達成につながると認識している。また、本市の政策とSDGsへの取り組みをわかりやすくするため、ホームページを工夫したい。

本市のおどけセミナーのメニューとして、新しいSDGsの講座を設けることはできないか。

問

【市長】おどけセミナーについては、すでに若手職員を中心にSDGsの研究を進めているところである。準備が整い次第、要望があれば対応したい。

問

本市の事業とSDGsの関係性を

かりやすくするため、SDGs推進

事業の概要版を作成してはどうか。

【企画部長】SDGsの目標ごとに施

策を体系化し公表する予定はない。

三重県いなべ市では、「いなべブランド」とSDGsを推進するための冊子を作成している。本市においても、「たじみブランド」の冊子を作成してはどうか。

問

【企画部長】本市の特徴的な政策や

事業について年間を通して紹介している。また、SDGsについて紹介している。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 持続可能な開発目標	2 終結する貧困	3 清潔な水と衛生	4 経済成長と社会的公正	5 経済成長と社会的公正	6 経済成長と社会的公正
7 経済成長と社会的公正	8 経済成長と社会的公正	9 経済成長と社会的公正	10 経済成長と社会的公正	11 経済成長と社会的公正	12 経済成長と社会的公正
13 経済成長と社会的公正	14 経済成長と社会的公正	15 経済成長と社会的公正	16 経済成長と社会的公正	17 経済成長と社会的公正	

SDGs17の目標（国際連合広報センターホームページ）

ふるしょう  
古庄 修一

## 地域の魅力再発見について

市内には、文化資源や観光資源といった大変貴重な財産が点在する。そのうち、喜多町西遺跡公園、喜多緑地について、観光資源や健康拠点として生かしていくことを提案するため、以下とおり質問する。

**問** 喜多緑地公園に隣接する喜多町西遺跡公園は、平成11年に整備され、堅穴式住居と高床式倉庫が復元された。この貴重な財産を今後どのように管理していくのか。また、PRの強化を図り、文化資源、観光資源として、本市がめざす日帰り観光客の増加に結びつけることはできないか。

**答** 【市長】喜多町西遺跡公園を含め、市内に分布する文化財を紹介する文化財マップを今年度刊行する。今後も産業観光課をはじめ、関係部署と連携し、散策や講座を実施する中で、文化財の普及、啓発に努めていく。

**【教育長】** 喜多町西遺跡について、将来の維持管理経費を含めた公共施設の統廃合を検討したが、堅穴式住居や高床式倉庫といった復元家屋の大規模修繕や建て替えは困難である。今後も必要最小限の修繕のみとし、建て替え以外の手法で遺跡を活用する。

**問** 喜多緑地を健康発信拠点として、にぎわいのある緑地にできないか。ま

た、今後利用者を増やすために、遊歩道の補修や整備を進め、PRを行ってはどうか。

**【市民健康部長】** 現在、保健センターオークを年3回実施している。今後も、ウォーキングコースの一

つとして、積極的に活用していく。については、PRなどを行い、利用増進を実施していきたいと考えている。

**【建設部長】** 喜多緑地の利用拡大につれては、PRなどを行い、利用増進を実施していきたいと考えている。多くの市民が利用できる場所として、喜多緑地に入り口の大きな石に「喜多緑地」と書かれている。緑を保存する観点から、バラーンスがよい。喜多緑地ができるときのルーツ

喜多町西遺跡公園内の高床式倉庫(写真左)と堅穴式住居(写真右)  
(古庄修一撮影)

る。  
る。  
る。  
る。

は、緑や  
自然と親  
しみによ  
る。

り、大きな案  
内看板は  
設置する

べきでは  
ないと捉  
えてい